

# ひかりのこ

3月園便り

聖ミエル幼稚園  
2020年2月14日

## 月主題：かけがえのない

### 「世界の中の子どもたち」

最近、新型コロナウイルスのニュースばかりが報道されています。中には、治療に関わっている方のお子さんや、武漢から戻ったご家庭のお子さんが、学校でいじめにあっているという悲しいニュースもあり、残念です。

マスクも品薄と聞いています。人々が慌てて買いに走り、店頭からマスクがなくなってしまう様子は、2年前に起きた北海道地震の時、スーパーから食料品が消えた出来事によく似ています。人間は、どうしても「自分」が大事になってしまいます。

でも、このような時は、ご家庭で、お子さんとよく話し合う良い機会ととらえることもできます。「今、本当に困っている人は誰だろう。」「私たちはどのように生活するといいいかな。」お父さん、お母さんの考えも伝えて、お話をするといいと思います。

新約聖書の「ルカによる福音書 10章25節」には、「心を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい。」という言葉があります。

今を生きる子どもたちは、もう、日本の中だけのことを考えるのではなく、世界中に視野を広げなければなりません。今回のようなことが起きた時、自分の国だけのことを考えるのではなく、隣人である世界の国の人に思いをはせることが大切なのです。

あとは、自衛です。ウイルスに感染しないためには、「人込みを避ける。」「手洗いうがいを日常的に行う。」「栄養のあるものを食べる」「よく寝る」ことを心がけ、いつも通りに生活することです。

幼稚園でも、子どもたちが登園したらまず手洗い、うがいをするようにさせています。手すりや、ドアノブは、次亜塩素酸ナト

リウムで毎日拭くようにし、消毒に努めています。

まず身の回りのできることをきちんとして、いつも通りに生活しましょう。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「アンモナイトが教えてくれたこと」

私が管理しているもう一つの教会で、先日葬儀がありました。亡くなったのは元高校の先生で、趣味はアンモナイトの化石の蒐集でした。道内各地を回り、時にはめったに人が入らない所にまで行って化石を見つけるそうです。自宅に行くと、片手で持てるものから大きな鍋ほどのものまで様々です。相当の時間をかけてアンモナイトの形を掘り出すのです。1億5千万年ほど前に生息した巻き貝のような生物で、環境に対応するために進化した形跡もあるそうです。しかしその後、恐竜と同様、絶滅してしまいました。

アンモナイトに限らず、生物は環境の変化に強いものが長らえ、弱いものは消え去っていきました。そういう視点で見ると、人間は、環境への順応が苦手のように感じます。しかし、人間には生きるために他の動物にはない力が与えられています。コミュニケーションをとる動物はいますが、例えば言葉で相手を励まし、尊重する力、相手の思いを汲み取ろうとする想像力などは人間に与えられた最強の賜物ではないでしょうか。

今も、世界中で様々な環境の変化が続いています。その中で人間が絶滅しないためには、単に科学技術に頼るだけでなく、結局は自分の身近なところで他者を大切にし、愛し合っていくしかないのだと、アンモナイトの化石に教えられたような気がします。

チャプレン 司祭 下澤 昌